

巻 頭 言

最近、教育改革論議がとみに活況になり、とくに教育制度、教師教育、大学入試の方法等についての臨時教育審議会の審議内容をめぐって、いまだかつてなかった教育論議が展開されています。

しかし制度その他がどのように変わろうと、教育内容と教育方法がそれによって大きな変化が引き起されるとは考えられません。とくに教科教育における教授・学習の原理と具体的内容、方法の探求は、今まで通り一貫して継続されるべきものと考えます。

本学会の会員による研究活動はまさに算数・数学教育における基本的課題解決をめざして、一貫してきましたし、今後もそうであろうと信じています。

もちろん、追求されるべき課題や問題は固定したものばかりでなく、むしろたえずより深い新しいものでなければなりません。

本学会には新進気鋭の会員が多くなり、従って本学会の活動が益々活況になることが期待されますことを喜びたいと思います。

世話人代表 竹内 芳男

(山形大学教育学部長)